

## ニホンナシ新品種「蒼月」の都内における品種特性

杉田交啓・荒井那由他  
(園芸技術科)

---

**【要 約】** 2021 年に品種登録出願公表されたニホンナシ「蒼月」は、極早生品種の青ナシで、「幸水」より早い、7月下旬から8月上旬に収穫が可能である。「幸水」と比較して、果肉が軟らかく、短果枝が安定して着生する。

---

### 【目 的】

ナシ第9回育成系統適応性検定試験・特性検定試験（以下：系統適応性試験）で検討された（独）農研機構果樹研究所育成「蒼月」（系統名「筑波59号」）が、2021年11月29日に品種登録出願公表された。この品種の都内における品種特性を明らかにし、都内への新品種導入にあたっての基礎資料とする。

### 【方 法】

1. 2015年に高接ぎを行った2樹について特性調査を行った（2019～2021年）。対照品種は「幸水」（成木：樹齢20年生以上）とした。調査項目および調査方法は、系統適応性試験調査方法に準じて行った。

### 【成果の概要】

1. 育成経過：「蒼月」（交雑年：2007年）は「なつしづく」×「はつまる」である（図1）。
2. 開花始の平年値は、4月5日で「幸水」と同程度だった（表1）。短果枝の着生は「中」で「幸水」より多く、えき花芽の着生は「中」で「幸水」並みだった。
3. 収穫始の平年値は、8月1日で「幸水」より6日早い（表2）。2021年度は7月26日より収穫できた。平均重は387.6gで「幸水」よりやや小さかった。糖度、酸度は「幸水」並み、果肉硬度は4.77で「幸水」より柔らかく、食味は良好だった。果皮色は黄緑色で、果形は円、さび等はみられなかった。
4. 果実の生理障害は、みられなかった（表3）。病害耐性については、黒斑病抵抗性、黒星病罹病性で「幸水」と同程度である。

### 【残された課題・成果の活用・留意点】

高接ぎ樹、3～5年の果実特性である。

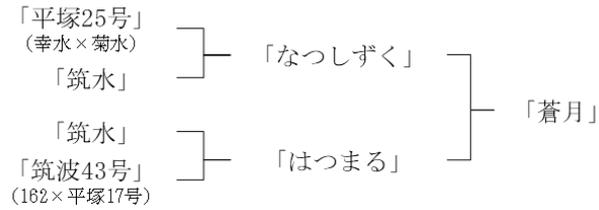


図1 「蒼月」の育成経過

表1 「蒼月」の樹勢、開花期および結実性（2019～2021年）

	樹勢	枝の 発生密度	開花期（月/日）			短果枝の 着生	えき花芽の 着生	
			始	満	終			
蒼月	中	中	Ave.	4/5	4/8	4/13	中	中
			2021	4/3	4/4	4/10		
			2020	4/3	4/7	4/11		
			2019	4/11	4/15	4/18		
幸水	中	中	Ave.	4/4	4/8	4/12	少	中
			2021	3/31	4/4	4/10		
			2020	4/4	4/8	4/12		
			2019	4/9	4/12	4/16		

表2 「蒼月」の果実特性（2019～2021年）

		収穫期（月/日）			平均重 （g）	糖度 （Brix%）	pH	果肉 硬度 （lbs）
		始	盛	終				
蒼月	Ave.	8/1	8/5	8/10	387.6	12.4	5.22	4.77
	2021	7/26	7/30	8/13	364.6	12.0	5.15	4.80
	2020	8/3	8/5	8/5	388.2	11.6	5.27	4.70
	2019	8/7	8/13	8/13	410.0	13.7	5.23	4.80
幸水	Ave.	8/7	8/17	8/26	416.4	12.2	5.32	5.23
	2021	8/5	8/13	8/23	434.7	12.3	5.30	5.10
	2020	8/7	8/21	8/28	410.4	11.2	5.43	5.20
	2019	8/9	8/19	8/28	404.0	13.2	5.24	5.40
	果皮色	揃い	果形	さび	渋味	香気		
蒼月	黄緑色	中	円	なし	なし	なし		
幸水	淡緑褐色	中	扁円	なし	なし	微		

表3 「蒼月」の果実生理障害および病害耐性（2019～2021年）

	果実生理障害				病害耐性 <sup>a</sup>	
	心腐れ	みつ症	生理的裂果硬化障害		黒斑病	黒星病
蒼月	なし	なし	なし	なし	抵抗性	羅病性
幸水	なし	なし	なし	なし	抵抗性	羅病性

a) 農研機構果樹研究所調べ